



# 学校だより

No. 4

9月号

令和3年9月1日

横浜市立洋光台第四小学校

～ 手をとるあい ぐんぐんのびる しんめの子 ～

ホームページもご覧ください。www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai4

## 本校の個別支援学級

個別支援学級担任 影山和久

8月の終わりになって、熱中症アラートや新型コロナ非常事態が宣言されるなど対応に慌ただしい日々が続いています。

また、今年はオリンピック、パラリンピックがあり、選手の活躍を見ることで、たくさんの感動をもらいました。これまでにどれだけの努力をしていたのか。そして、選手たちの言葉の中で共通していることが、「皆さんに感謝している。」という言葉でした。自分の努力だけでなく、自分にかかわっているすべての人に感謝しているという気持ちが素直に言える人が晴れの舞台に参加していることを強く感じました。

さて、本校では、個別支援学級のことを「4くみ」として位置付けています。子ども一人一人に応じた支援をするために保護者の方々と連携を取りながら過ごしています。その中でも、クラスとして一緒に活動できることも行っています。

共通の学習の中でも個人のめあてに向けて支援しながら、自分のよさや達成感、集団の中での満足感などを育てたいと考えています。

4くみ独自の行事として、磯子区内の個別支援級で行う合同宿泊学習や学習発表会などがあります。

また、4くみ全員で取り組む野菜作りでは、野菜の生長や収穫への期待、作業や収穫後のパーティなど個人としての満足感だけでなく、4くみみんなで喜ぶことを味わわせたいと思い計画しています。

全ての活動の中には、安心して活動ができるように一人一人が見通しをもつ、そして活動を通して自信をつけることができるように計画を立てています。支援をするうえで、なるべく失敗させない、もし失敗しても許される、認められる、雰囲気を感じさせるように配慮しています。

また、4くみの子どもたちは、それぞれの学年で経験できる行事や学習などに参加し、交流級や交流学年での交流を深めたり、所属を感じたりできるように配慮しながら交流しています。

そのことを踏まえて、めざす具体的な子ども像を考え、4くみでは次のように設定しています。

- 何でも自分の力でやってみようとするがんばる子
- いろいろなことに精いっぱい取り組む元気な子
- みんなと仲よくできる優しい子

そのためには、学習の場面、生活の場面での支援や家庭との連携、学校内、校外諸機関との連携を密に取りながら、4くみの子どもたちにとってよりよい成長に向けて取り組んでいます。

その結果が学級目標：「えがおの4組」～ひとにやさしく・きもちのきりかえ～ の達成につながることを願い、日々の支援に取り組んでいます。

夏休みを終え、子どもたちとの関わりを大事にしながら第2学期の学習に入っていきます。引き続きご理解、ご協力をよろしくお願いたします。